

大谷 肇先生をしのぶ

1980年名古屋大学工学部卒業。同大学大学院工学研究科博士課程を経て1985年工学博士（名古屋大学）。1986年名古屋大学工学部助手。1995年名古屋大学理工科学総合研究センター助教授。1998年名古屋大学大学院工学研究科助教授。2005年名古屋工業大学大学院工学研究科教授。2023年名古屋工業大学産学官金連携機構客員教授。2016, 2017, 2022年「分析化学」論文賞。2019年日本分析化学会学会賞。2008～2009年度日本分析化学会高分子分析研究懇談会運営委員長。2013年度日本分析化学会中部支部長。2020年日本分析化学会第69年会実行委員長。2020～2022年度日本分析化学会副会長。2023年度日本分析化学会会長。



本会会長を務められました名古屋工業大学教授の大谷肇先生が、2023年8月1日に65歳でご逝去されました。大谷先生は研究・教育活動はもちろんのこと、本会副会長そして会長として、社会的にも多岐にわたりご活躍をされておりました。2005年より17年にわたり先生と一緒に仕事をさせていただきましたご縁により、哀悼の意を述べさせていただきます。

大谷 肇先生は、1986年に名古屋大学 柘植 新先生の研究室の助手に就任され、名古屋大学助教授、名古屋工業大学教授として分析化学、特に高分子分析に関する研究を継続して行われました。熱分解ガスクロマトグラフィー-質量分析法（PyGC-MS）に関しては、装置メーカーとも協力しながら長年にわたって高性能化を進められ、現在では国内外の様々な分野で幅広く用いられている、優れた熱分解分析システムを開発されました。PyGC-MSやマトリックス支援レーザー脱離イオン化-飛行時間型質量分析法を用いた、実用ポリマー分析の応用研究に精力的に取り組まれ、その成果として、従来法では実現することが困難であった、共重合ポリマーの精密分析や、立体規則性、分岐、末端基などの微細構造の高感度解析法を世界に先駆けて次々に発表されてきました。大谷先生が開発された手法は多くの企業で用いられており、現在のポリマー材料開発において不可欠といっても過言ではありません。近年は、環境中のマイクロプラスチックに関する研究も精力的に行っておられました。

大谷先生は、研究室に配属された学生に対する研究指導も真摯に取り組まれていました。学生が積極的に研究成果発表を行うことを推奨し、第三者が十分理解できる発表を行うことができる能力を身につけること、第三者からのコメントに適切に対応することができることを重視され、就職後も必要となるプレゼンテーション・コミュニケーション能力を備えた人材の育成に力を注がれました。そのため、研究室で日常的に丁寧な指導をされていたことは言うまでもありません。その結果として、最近15年以上にわたり、学会発表・論文発表において、毎年、複数の指導学生が、優秀発表賞などを受賞し続け

ていました。そして大谷先生は、このことをとても喜んでおられました。

ご存じの方も多いと思いますが、大谷先生はお酒が大好きでした。特に日本酒に関しての知識は深く、どの地方の学会においても、飲んだことのあるお酒と飲んだことのないお酒を明確に区別され、その記憶力には感嘆するものがありました。飲んだことのない銘柄がある場合は、嬉しそうに、そして真剣に味わっていたお姿が忘れられません。筆者らの研究室では、大学内で新入生歓迎会や忘年会などの飲み会をすることも多かったのですが、その時には必ず学生からの贈り物であるビールサーバーを持ってこられ、必ずそれを使ってビールを注がれていたことが印象的でした。大谷先生は今年の3月に定年を迎えられましたが、4月から名古屋工業大学産学官金連携機構客員教授という立場でお仕事をされました。定年を迎えられた時には、新型コロナウイルス感染症がまだ5類に移行していなかったこともあり、記念パーティーなどはゴールデンウィーク以降に開催しようということになっておりました。突然のご逝去でそれがかなわなくなってしまったことが、本当に残念でなりません。

大谷先生の、お通夜・告別式には、多くの卒業生、大学関係者、学会関係者、共同研究先の方々にご参列を賜りました。遠方からお見えになった方も非常に多く、会場に入りきらないほどでした。また、会場からあふれるほどのご献花を賜りました。大谷先生がいかに多くの人から慕われていたのかを改めて感じさせられました。

ここまで書き連ねてまいりましたが、筆者の拙い文章では、大谷 肇先生のお人柄をすべて表現することはできません。本誌6月号に掲載されました「このひと」でも、大谷先生のお人柄が述べられております。こちらの記事もいま一度ご一読いただき、在りし日の大谷先生に思いをはせていただけますと幸いです。改めまして大谷 肇先生の早すぎるとご逝去を悼むとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

〔名古屋工業大学大学院工学研究科 北川 慎也〕